S-Stage ボアアップキット 138cc　取扱説明書

製品番号	01-05-5182　φ 59/138.3cc

適応車種及び フレーム番号	KLX110	(LX110A-000001 ～) (LX110A-A08133 ～)
	KSR110	(KL110A-000001 ～) (KL110A-A02833 ～)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

使用燃料についてのご注意

当製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前にフューエルタンクに残っていたガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず、CR8HSA(NGK) 又は、U24FSR-U(DENSO) に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

音鳴りについてのご注意

当製品を取り付けると、シリンダの冷却ファンの共振による音鳴りが発生する場合があります。この場合はキット内のダンパをキットのシリンダーに組み付けて対処して下さい。

排気量についてのご注意

当製品を取り付けると排気量が 125cc を超え 138.3cc となりますので原付 2 種の登録は出来ませんのでご注意下さい。
（レース専用部品に付き、一般公道走行は出来ません。）

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎当製品のシリンダーは、ノーマルクランクケースの個体差により、干渉する場合があります。また、干渉する場合はノーマルクランクケースの修正を行う必要があります。ご注意下さい。
◎当製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼されることをお薦め致します。
◎当製品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
■ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）

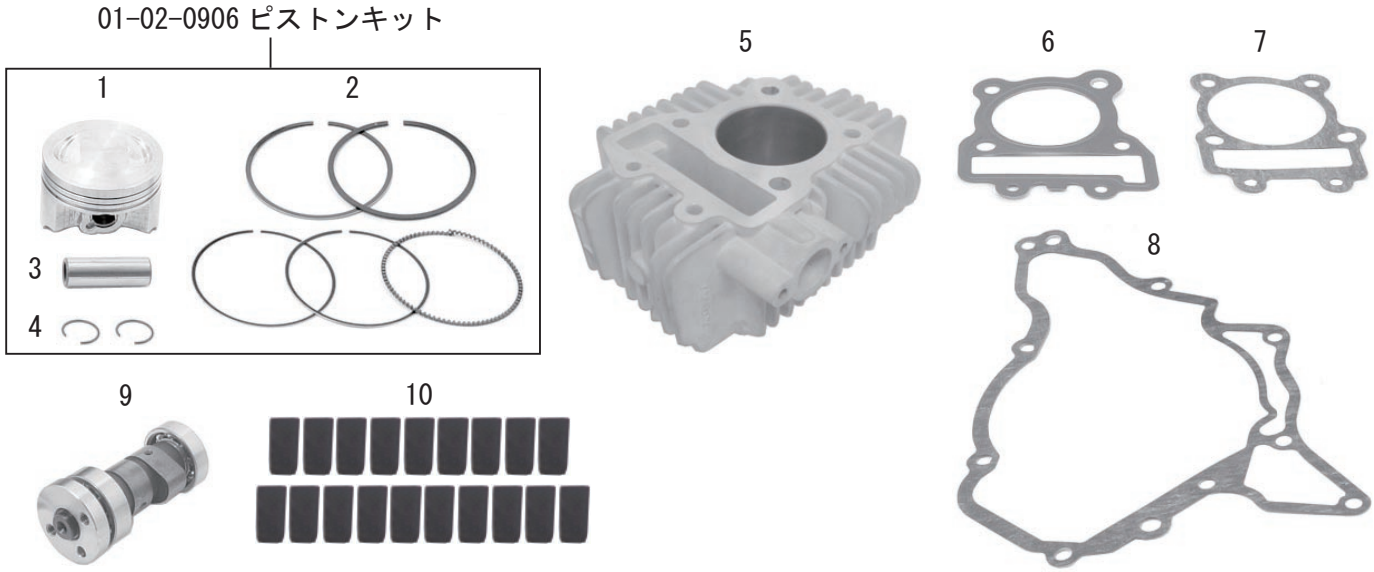
株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

ネジについて

◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。
◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から３～４回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。
◇ネジを締めるということは、ネジを緩まないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない･緩まない数値で表したのが規定トルクです。
◇トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない･緩まない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、弊社では責任を負いません。
トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト･ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

製品内容



番号	部　品　名	個数	リペア品番
1	ピストン 59mm	1	13110-KL1-T10
2	ピストンリングセット 59mm	1	01-15-023
3	ピストンピン 13x36	1	13111-GEF-T01
4	ピストンピンサークリップ 13x1	2	00-01-0003（6 ケ入り）
5	シリンダー 59mm	1	01-01-0102
6	シリンダーヘッドガスケット	1	12251-KL1-T10
7	シリンダーガスケット	1	12191-KL1-T00
8	ジェネレーターガスケット	1	00-01-0058
9	カムシャフト	1	01-08-045
10	ダンパ B	19	00-01-0342（10 ケ入り）

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

※水平で安全な場所で車両を安定させる。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行う事。

●取り外し

◇フューエルコックを OFF にする。

★ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにする。

★取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管する。

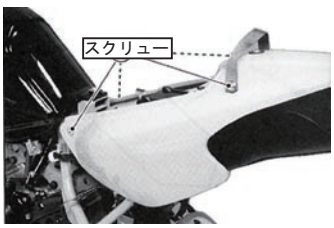
外装部品の取り外し

◇３本のスクリューを取り外し、右シュラウドを取り外す。

◇ボルトを取り外し、シュラウドスクリーンを取り外す。

◇シートを取り外す。

◇４本のスクリューを取り外し、シートカウルとシートバンドを取り外す。



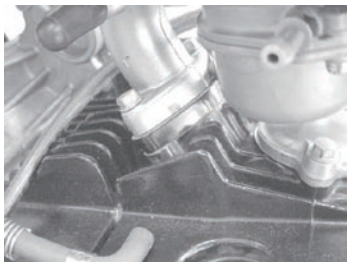
キャブレターの取り外し

◇配線２本の接続を外す。キャブレタートップを取り外し、スロットルバルブを抜き取る。

◇チョークケーブルの接続を外す。

◇クランプを取り外す。チューブクランプを取り外し、フューエルホースの接続を外す。エアクリーナーダクトのクランプスクリューを緩める。

◇マニホールドの２本のボルトを取り外し、エアクリーナーダクトからキャブレターを取り外す。



エキゾーストマフラーの取り外し

◇エンジンガードを取り外す。

◇エキゾーストパイプホルダーナット２個を取り外す。

◇マフラー取り付けボルト１本を取り外し、マフラーを取り外す。

スパークプラグの取り外し

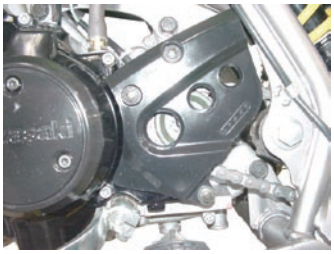
◇プラグキャップを引っ張って外します。必ずキャップ部分を持って引っ張って下さい。

◇スパークプラグを取り外します。

オルタネータカバーの取り外し

◇オイルパン等を用意し、オイルフィラーキャップとエンジンオイルドレンプラグボルトを取り外してオイルを抜き取る。

◇ボルト３本を取り外し、スプロケットカバーを取り外す。



◇シフトペダルを取り外す。

◇オルタネータカバーからのコネクターを外す。

◇ボルト９本を取り外し、ジェネレーターカバーを取り外す。ノックピンは再使用するので取り外しておく。

◇ガスケットがクランクケースに残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除いておく。

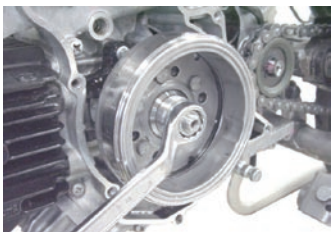
★キズをつけないように注意。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

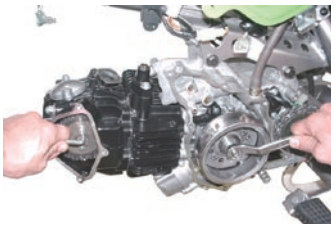
カムスプロケットの取り外し

◇ボルト 4 本を取り外し、カムスプロケットカバーを取り外す。

◇フライホイールを反時計方向に回し、カムスプロケットの“T”マークをシリンダーヘッドの突起に合わせる。



◇フライホイールを保持し、カムスプロケットのボルト 2 本を取り外す。



◇カムスプロケットを取り外す。
◇シリンダーのカムチェーンテンショナーのボルトを取り外しておく。
◇ 2 本のボルトを取り外し、カムチェーンテンショナーを取り外す。

ロッカーアームとカムシャフトの取り外し

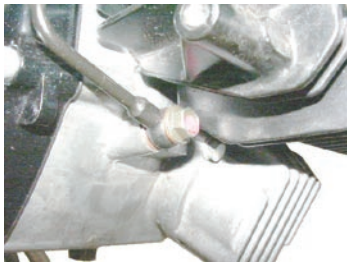
◇ボルト 2 本を取り外し、バルブアジャスティングカバー IN 側、EX 側を取り外す。スクリュー 2 本を取り外し、ロッカーアームシャフトストッパを取り外す。

◇ロッカアームを手で持ち、ロッカーアームシャフトを引き抜いて IN 側、EX 側のロッカーアームを取り外す。

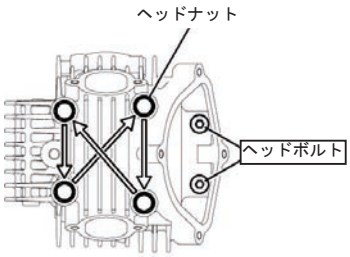
◇カムシャフトを抜き取る。
★無理に引っ張らない事。

シリンダーヘッドの取り外し

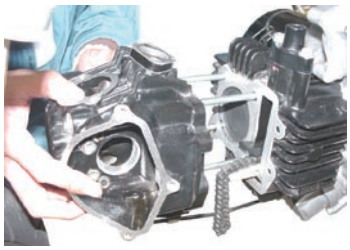
◇オイルパイプ取り付けスクリューと、クランクケース側、シリンダーヘッド側のバンジョーボルトを取り外し、オイルパイプを取り外す。



◇ヘッドボルト 2 本を取り外す。
ヘッドナット 4 個を対角に数回に分けて緩め、取り外す。



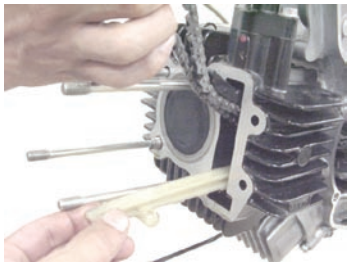
◇シリンダーヘッドを引っ張って取り外す。（かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき､取り外す。）



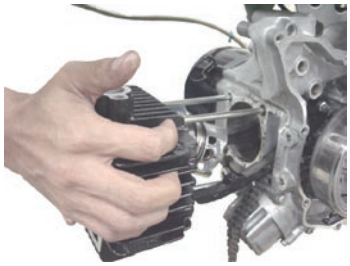
◇ノックピン 2 個は、再使用するので取り外しておく。

シリンダーの取り外し

◇ロアカムチェーンガイドを取り外す。



◇シリンダーを引っ張って取り外す。（かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。）



◇ノックピン 2 個は、再使用するので取り外しておく。
◇シリンダーが外れた後、ゴミや部品が入らないようにウエス等をクランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールに詰め込む。
◇ガスケットがクランクケースに残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除いておく。
★キズをつけないように注意。

ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。
★ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れやすい。

◇サークリップを取り外した方へピストンピンをドライバー等で押して外し、ピストンを外す。

●確認

※キットのシリンダーはノーマルクランクケースの個体差により、スリーブのクランクケース挿入部が干渉する場合がある。
※干渉する場合、ノーマルクランクケースの修正を行う事。

●修正要領

1. シリンダーをクランクケースにノックピンで位置決めし、 取り付けてみる。クランクケースの干渉位置を把握する。
2. クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰める。
3. ヤスリ、リュ―ター等を用いて削る。削りすぎないように少しずつ削る。
4. 削り粉がクランクケース内に入らないように、慎重にウエスを取り除く。

クランクケース干渉部の修正が出来るまで､1 ～ 4 の作業を繰り返す。削りすぎを防ぐため、少しずつ行う事。

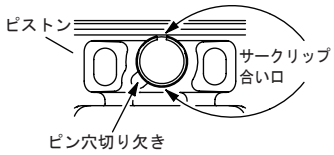
■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

● S- ステージ KIT の取り付け

ピストンの取り付け

◇ピストンのピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付ける。

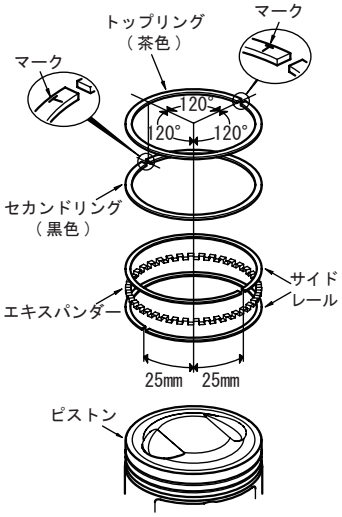
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける事。



★ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付ける事が出来る。

★押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付ける事。

◇図を参考にしてピストンリングを取り付ける。エキスパンダー、サイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。



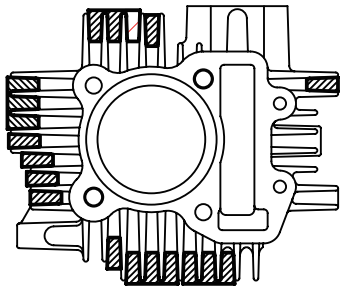
◇ピストンピン、ピストンピン穴、コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布する。

◇ピストン頂面の“IN”文字が、上（吸気側）になるようにピストンを取り付ける。

◇付属のピストンピンサークリップを取り付ける。

シリンダーの取り付け

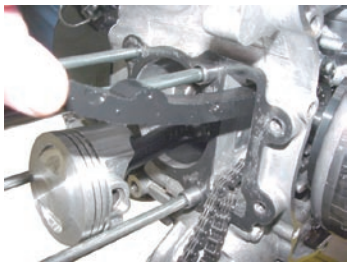
◇シリンダー冷却フィンの間に、キット内のダンパ B を図の場所に奥まできっちり入る様取り付けます。（シリンダー冷却フィン共振音低下の為取り付けます。）



◇詰めていたウエスを取り外す。

◇クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂し、きれいにする。

◇ノックピン 2 個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付ける。

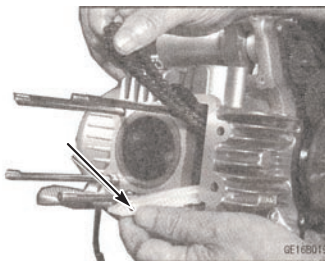


◇シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布する。

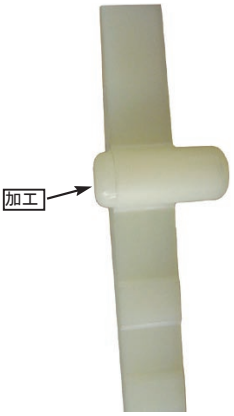
◇シリンダーをピストンリングの合い口の位置がずれないように指で少しずつピストンにはめていき、シリンダーをクランクケースにはめ込む。

★シリンダーがピストンにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通しておく。

◇ロアカムチェーンガイドをシリンダーとクランクケースの溝にしっかりとはめ込む。



※シリンダーにチェーンガイドを取り付ける際、個体差でチェーンガイドが溝の奥まで入りきらない場合があります。
写真を参考にチェーンガイドの横方向にガタが出来るまで加工し、溝の奥まで入っている事を確認して下さい。



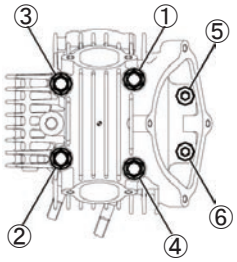
シリンダーヘッドの取り付け

◇シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂し、ノックピン 2 個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付ける。

◇カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。

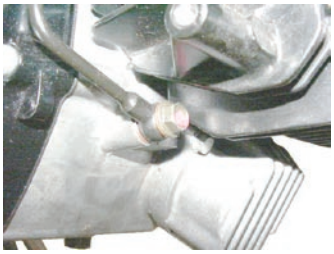
◇ヘッドナット 4 個、ヘッドボルト 2 本を仮止めしておき、下図の番号順に数回に分けて締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドボルト
　トルク：12N・m（1.2kgf・m）
ヘッドナット
　トルク：22N・m（2.2kgf・m）



◇オイルパイプを取り付けスクリューと、バンジョーボルトで取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
　トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）
バンジョーボルト
　トルク：15N・m（1.5kgf・m）



カムシャフトとロッカーアームの取り付け

◇キットのカムシャフトをシリンダヘッドーに取り付ける。

◇ロッカアームを手で持ち、ロッカーアームシャフトをシリンダーヘッドに差し込み、取り付ける。

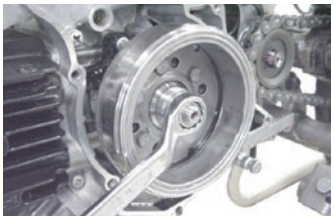
◇ロッカーアームシャフトストッパーをスクリュー 2 本で取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
　トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

カムスプロケットの取り付け

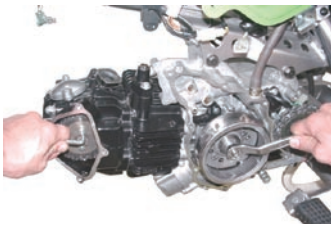
◇フライホイールの“T”マークがクランクケースの合わせマークに合っているか確認する。



◇カムスプロケットの“T”マークがシリンダーヘッドの突起に合うようにカムチェーンを取り付ける。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込む。

◇カムシャフトスプロケットの穴にカムシャフトのネジ穴を合わせ､スクリュー2本を取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：12N・m（1.2kgf・m）



◇カムシャフトチェーンテンショナーのプッシュロッドがロックしているか確認する。

◇シリンダーにカムシャフトチェーンテンショナーを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
カムチェーンテンショナー
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

◇カムシャフトチェーンテンショナーのストッパーを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。キャップボルトを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
キャップボルト
トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）

バルブクリアランスの調整

◇フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークに合わせ、カムスプロケットの“O”マークがシリンダーヘッドの突起に合っているか確認する。

◇アジャストスクリューとバルブステムの間にシックネスゲージを差し込み、引き抜くときに少し抵抗があるぐらいに合わせ、アジャストスクリューを固定してナットを締め付ける。

バルブクリアランス
：IN、EX 共に 0.04 ～ 0.08mm

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：8.8N・m（0.9kgf・m）

◇クランクシャフトを反時計方向に2回転まわし、バルブ隙間が変化していないか確認する。
隙間が変化している場合は再度調整する。この作業を合うまで繰り返す。

◇カムシャフトスプロケットカバーをボルト4本で取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）

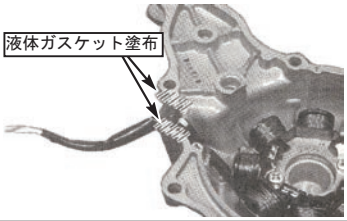
◇ボルト2本を取り外し、バルブアジャスティングカバー IN 側、EX 側をそれぞれボルト2本で取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）

ジェネレータカバーの取り付け

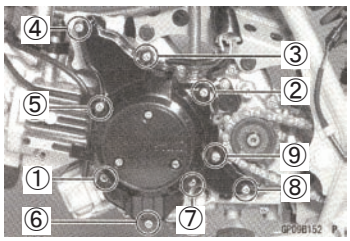
◇ジェネレーターカバーとクランクケースの合せ面をシンナー等で脱脂し、ノックピン2個と付属のガスケットを取り付ける。

◇ジェネレーターカバーの配線のグロメット部に液体ガスケットを塗布する。



◇ジェネレータカバーを取り付け、ボルト9本を仮止めする。それぞれのボルトを番号順に数回に分けて本締めする。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）



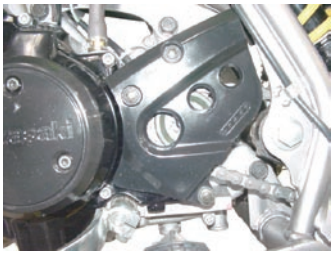
◇ジェネレーターカバーからのコネクターを接続する。

◇シフトペダルを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）

◇スプロケットカバーを取り付ける。

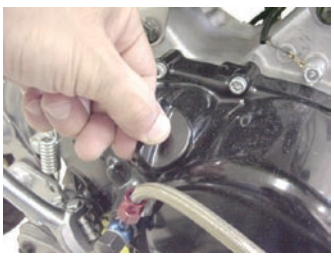
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：5.9 ～ 7.8N・m
（0.6 ～ 0.8kgf・m）



◇エンジンオイルドレンプラグボルトとガスケットを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：29N・m（3.0kgf・m）

◇エンジンオイルを規定量入れ、オイルフィラーキャップを取り付ける。
エンジンオイル規定量 0.9L
（オイルフィルターを取り外さない場合）



スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグをまず手で締め込む。

◇プラグレンチを用いて締め付ける。

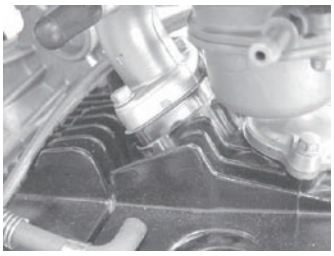
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：13N・m（1.3kgf・m）

◇スパークプラグキャップを取り付ける。

キャブレターの取り付け

◇エアクリーナダクトにキャブレタをはめ込み、マニホールドをシリンダーヘッドにボルト2本で取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）



◇エアクリーナダクトのクランプスクリューを締めこむ。フューエルホースを接続し、チューブクランプを取り付ける。フューエルホースとスパークプラグコードにクランプを取り付ける。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

◇スロットルバルブの切り欠きをキャブレターのアイドルストップスクリュに一合わせて差し込み、キャブレタートップを取り付ける。
配線 2 本を接続する。

エキゾーストマフラーの取り付け

◇エキゾーストマフラーをエキゾーストパイプホルダナット 2 個とマフラー取り付けボルト 1 本でまず仮止めする。

◇ナット 2 個とボルト 2 本を締め付ける。

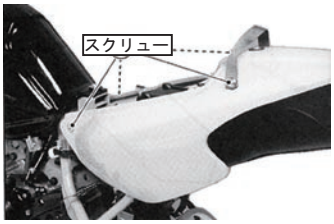
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト / ナット
トルク：14N・m（1.4kgf・m）

◇エンジンガードを取り付ける。

外装部品の取り付け

◇ 4 本のスクリューでシートカウルとシートバンドを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）



◇シートを取り付ける。

◇ボルトでシュラウドスクリーンを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）

◇ 3 本のスクリューで右シュラウドを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）

●走行前の注意

①使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

②各部の点検

◇各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認します。
◇エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。
◇風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させます。
◇エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれが無いか点検して下さい。
◇エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか再度点検して下さい。